

# 人権尊重都市鳥取市の実現をめざして

## 人権尊重社会を実現する鳥取市民集会を開催します

本庁舎人権推進課 (43 番窓口) ☎ 0857-30-8071 📠 0857-20-3945

市民集會は、市民のみならず、市民団体、企業、関係機関と一緒に取り組んでおり、交流を図りながら人権課題を

### さまざまな人権を 考える

鳥取市民集會（以下「市民集會」）は、同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざし、「実践と交流の輪を広げること」を目的に開催しています。その始まりは、昭和49年に開催された第1回部落解放鳥取市研究大会に遡り、これまで着実にその歩みを進め、今回50回の節目を迎えます。今年度は本市のほか、麒麟のまち圏域（岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・兵庫県香美町・新温泉町）と連携し、圏域全体で人権意識の高揚を図り、誰もが安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現をめざします。

近年は社会情勢の変化やコロナ禍により、人と人との交流機会の減少がより浮き彫り

### 分科会テーマ

- ① 子どもの人権
- ② 男女共同参画
- ③ 同和問題（部落差別）
- ④ 障がいのある人の人権
- ⑤ 地域における人権の取組
- ⑥ 企業における人権
- ⑦ 特別分科会

### （社会的孤独・孤立）

### 学びの機会として

人権問題は、私たち一人ひとりが自分事として考えることが大切です。市民集會がみなさんの学びの機会になるよう、ご参加をお待ちしています。

また、孤独・孤立に直面した時に誰かに相談でき、気がかけてもらえるような「つながり」のある社会づくりについて考えます。

シリーズ @じんけん

Vol.451

## 鳥取市民集會 ～人権尊重の輪を広げよう～

ともに考えるため、全体会と分科会の構成で開催しています。全体会では、50回記念として円通寺人形芝居公演を行うほか、「はだしのゲン」をテーマにした講演では、戦争と平和について改めて考えます。また、分科会では7つのテーマについて、講演やワークショップ形式で学びを深めます。



「はだしのゲン」の講演



円通寺人形芝居（無形民俗文化財）

となり、本人が望まない孤独・孤立を防止することが課題になっていきます。本市では、令和5年3月に「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設立し、対策に取り組んでいます。特別分科会では、こうした孤独・孤立問題の実態を共有し、それぞれの立場から何ができるのかを学びます。

### 部落解放月間（7月10日～8月9日）

「同和対策事業特別措置法」が施行された昭和44年7月10日を記念して、鳥取県が翌年の昭和45年に「部落解放週間」を制定しました。その後、昭和48年に「部落解放月間」とされました。期間中は、県内で同和問題（部落差別）をはじめ、あらゆる差別をなくすため、講演会などの啓発活動が行われます。

### 第50回人権尊重社会を実現する鳥取市民集會

主 題：誰もが自分らしく、暮らすことのできる地域共生のまちづくり  
と き：8月23日（金）  
9:30～15:30  
と ころ：とりぎん文化会館ほか  
参加無料・要予約



# 中学生記者が市報制作に挑戦！



西中学校2年の澤本 懸さんと田中水桜さんが、6月25日から27日までの3日間、広報室で職場体験学習を行いました。同級生が職場体験をしているAm's（アムズ）と富桑保育園取材し、インタビューや原稿作成をこなして、この1ページを作成しました。

本庁舎広報室（33番窓口）  
☎ 0857-30-8008 📠 0857-20-3040

## お客様の笑顔のために

Amズは、「衣・食・住」をテーマに、地の物や丁寧な暮らしに寄り添う雑貨・家具を販売しているお店です。お店を訪れると、笑顔で接客している同級生の姿が見られました。体験中の2人に感想を聞いたところ、ラッピングをする作業では、お客様に渡すものであるため、きれいに仕上げなければならぬというところが難しいそうです。次に、従業員の幸山さんに、接客をするうえで大切にしていることを伺ったところ、「お客様と接する一瞬で第一印象が決まるので、笑顔を大切にしている」とおっしゃっていました。職場体験の初日でしたが、接客をする大変さを感じながらも、楽しそうに取り組む同級生の姿が印象的でした。



ラッピングは素早く丁寧に

## 子どもの未来へ向けて

富桑保育園では、100人以上の子どものための保育を行っています。園内は子どもたちの楽しそうな声と笑顔に満ちていて、とても明るい印象を受けました。体験をしている同級生5人に、職場体験をしていて大変だと思ったところを聞くと、「子ども一人一人に合わせた対応が難しい」と話していました。谷岡園長先生に、どのような方針で保育を行っているのかを尋ねたところ、「一人一人の個性を大切に、将来大人になったときに自分らしく生きられるようになってほしい」とおっしゃっていました。体験をしている5人は、子どもたちの対応に追いつけながらも、楽しそうに園児と接していました。



園児の安全をサポート

## 体験を通して考えたこと

広報室のみなさんの「市民のために」という熱意が感じられました。また、深澤市長は鳥取市を思った政策を考えておられ、その強い思いに感動しました。今回の職場体験で感じ取ったことを生かし、実りある生活を送りたいです。（澤本 懸）  
市報の作成や取材など、普段の生活ではなかなかできないことをたくさん体験させていただきました。とても貴重な経験になりました。この職場体験と深澤市長との面会で学んだことを、学校生活でも生かしていきたいです。（田中水桜）

